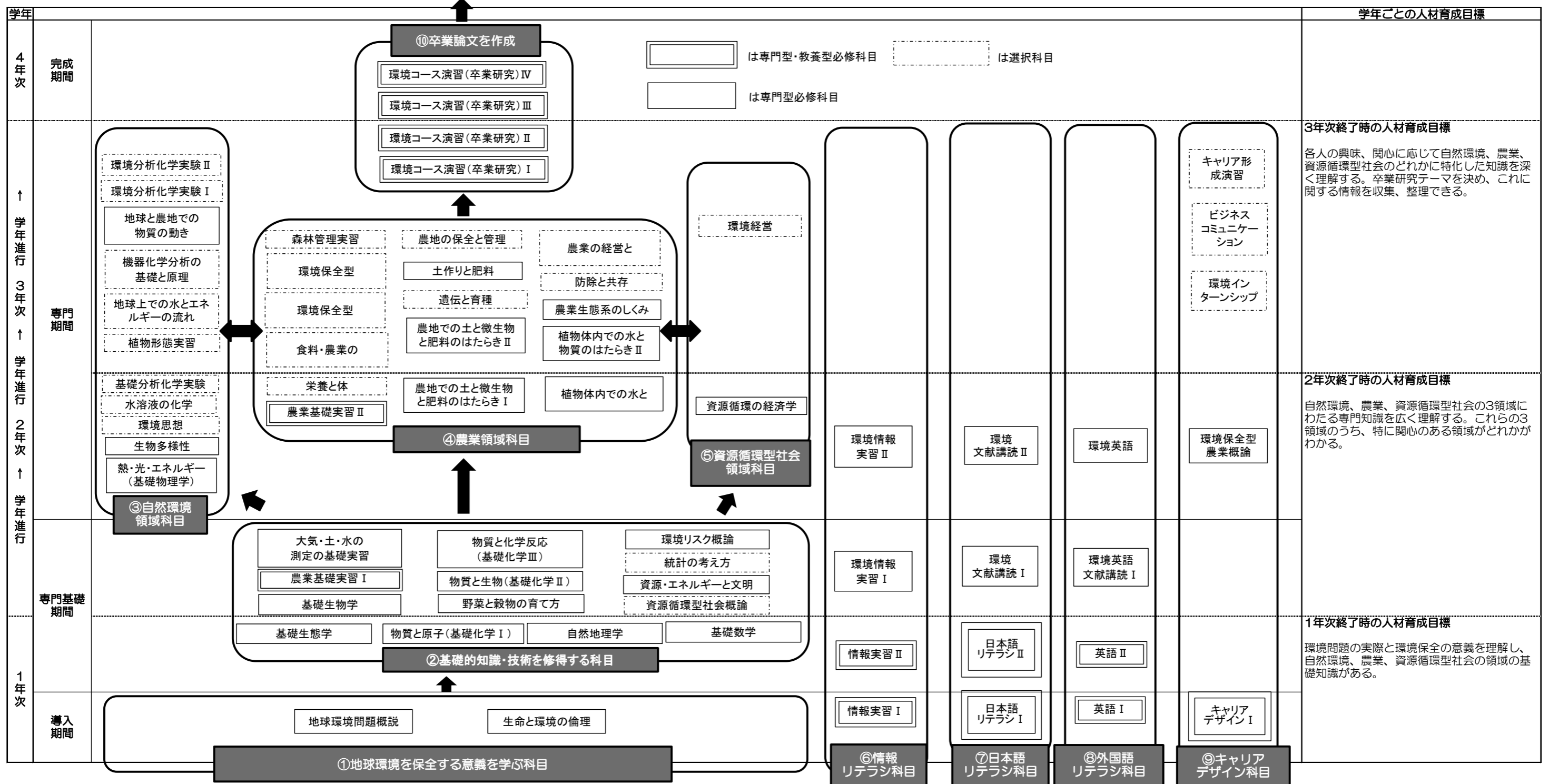


環境コース

環境コースの人材育成目標

生態系、物質循環、農業、資源循環型社会に関する専門的な知識に基づいて、社会の生産・流通・消費の場で、人間社会の発展と環境保全のバランスを考慮した発言と提案、そして行動ができる。



学年ごとの人材育成目標

3年次終了時の人材育成目標

各人の興味、関心に応じて自然環境、農業、資源循環型社会のどれかに特化した知識を深く理解する。卒業研究テーマを決め、これに関する情報を収集、整理できる。

2年次終了時の人材育成目標

自然環境、農業、資源循環型社会の3領域にわたる専門知識を広く理解する。これらの3領域のうち、特に関心のある領域がどれかがわかる。

1年次終了時の人材育成目標

環境問題の実際と環境保全の意義を理解し、自然環境、農業、資源循環型社会の領域の基礎知識がある。

①地球環境を保全する意義を学ぶ科目
地球環境問題の実際を知るとともに、地球環境や生態系を保全する意義を理解する。

②基礎的知識・技術を修得する科目
自然環境、農業、資源循環型社会の3つの専門領域の基礎となる知識と技術を修得する。

③自然環境領域科目
地球環境中の物質循環系および生態系について、生態学、化学、地理学、物理学、気象学の諸分野の専門知識にもとづいて理解する。また、実習を通じて、自然環境を観測・測定するための技術を修得する。

④農業領域科目
農業、生態系、植物に関する専門知識を修得し、環境保全と物質循環を考慮した作物生産を行うことができる。また、農業に関する経営手法、法律、政策を理解する。

⑤資源循環型社会領域科目
自然資源の採取や廃棄物の廃棄などともなう環境負荷を低減させるための社会経済のあり方を、経済学や法学などの社会科学の知識にもとづいて、理解する。

⑥情報リテラシ科目
卒業研究に必要な、コンピューターを利用しての情報の収集と整理と発信を行うことができる。

⑦日本語リテラシ科目
卒業研究に必要な、日本語専門文献の読解方法に習熟する。

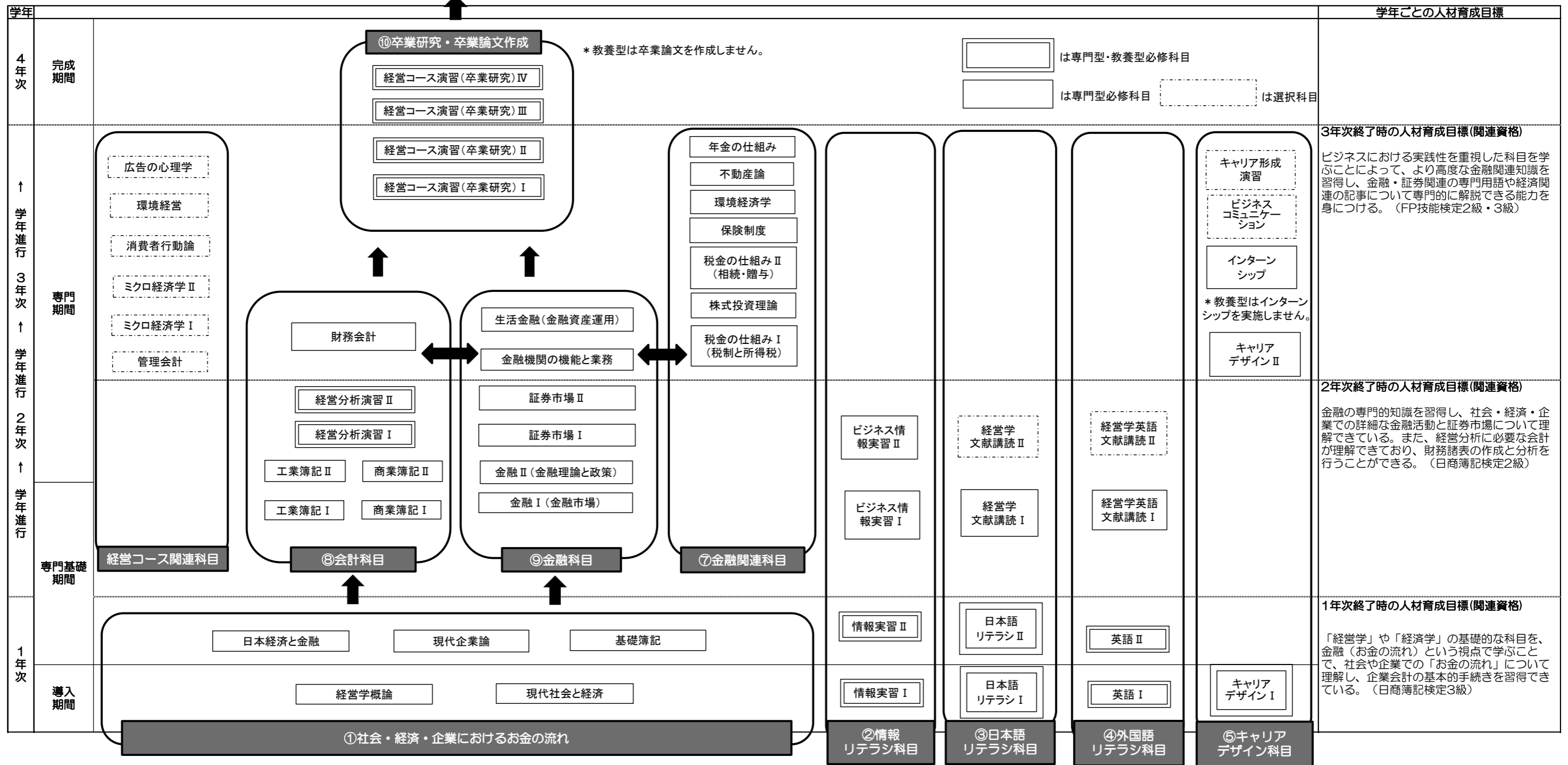
⑧外国語リテラシ科目
英語専門文献の読解の基礎的な知識を修得する。院進学を目指すものは進学後に専門文献読解が行える読解力を身につける。

⑨キャリアデザイン科目
農業関連の生産と流通の場で求められている知識と人材の実際を理解する。

経営コース

経営コースの人材育成目標

金融(お金の流れ)という視点で、社会・経済・企業の仕組みを理解し、ビジネスで必要とされる金融知識を習得した人材を育成する。企業業績を分析するための会計や経営分析の技能を習得するとともに、金融や株式、税金、保険といった実践的な金融知識を身につけた、企業で活躍できる人材を育成する。



②情報リテラシの人材育成目標

ビジネスで必要とされる基本的なスキルを習得するとともに、企業研究や経営分析で必要とされる情報処理能力とプレゼンテーションスキルを身につける。

③日本語リテラシの人材育成目標

専門書を読み、内容を理解できる文章読解力と専門用語を習得し、ビジネス文書・企画書を作成できる文章構成能力を養う。

④外国語リテラシの人材育成目標

英語文献を理解できる読解力を身につけるとともに、ビジネスで必要とされるビジネス英語・時事英語を理解し、外国語コミュニケーション能力を養う。

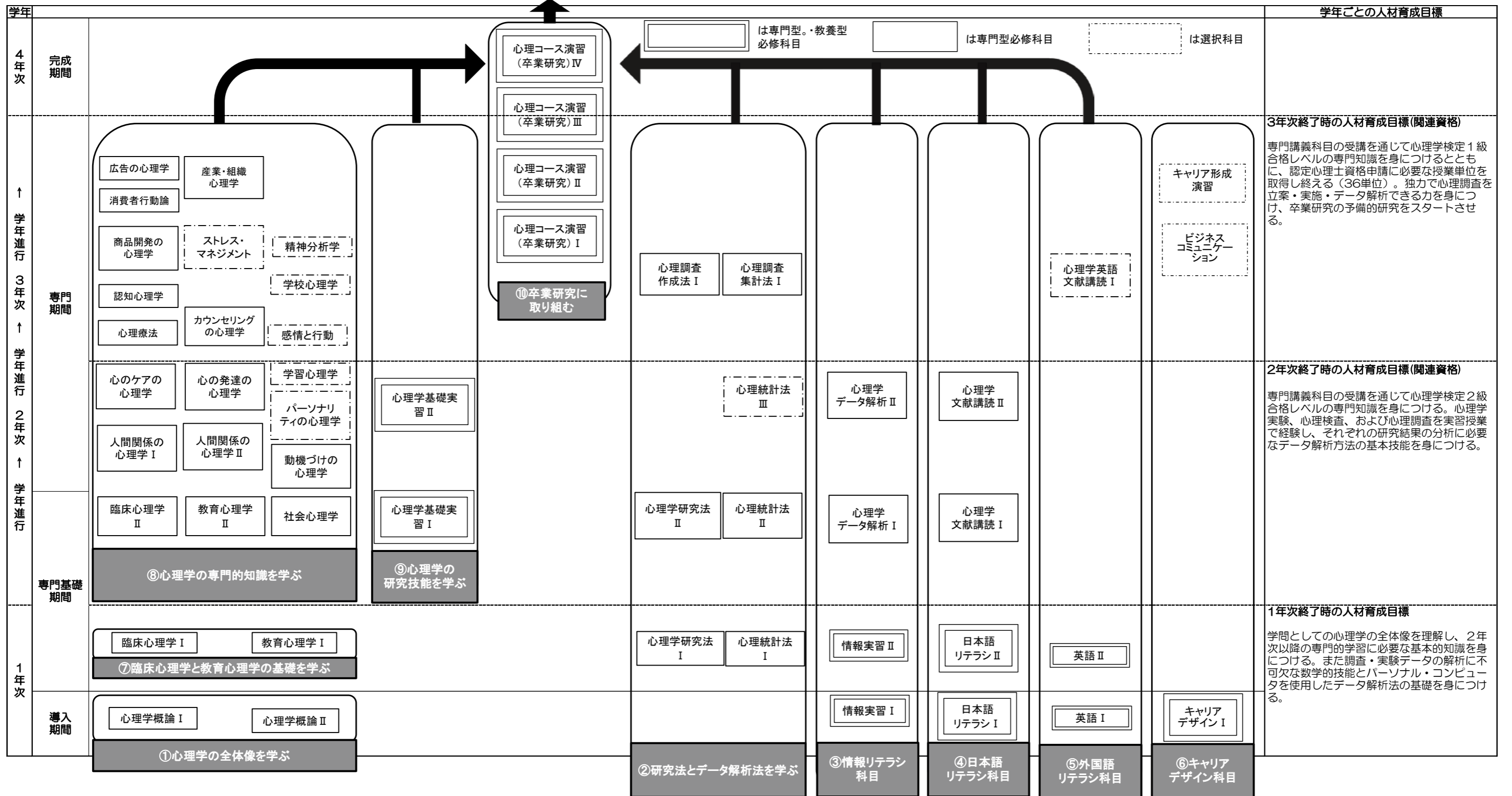
⑤キャリアデザインの人の人材育成目標

自らの進路を早期から意識し、大学で学んでいることと自分の将来像の関連を理解して、明確な目標と課題意識をもつ。また、将来の進路の実現のために必要となる知識やスキルを積極的に習得する。

心理コース

心理コースの人材育成目標

- ・心理学全体についての基本的な知識を学び、現代社会におけるさまざまな心の問題を客観的な立場から理解し、対処・支援できる力をもった人材を養成する。
- ・心理調査の立案・実施・データ解析能力を学び、職場で活かせる実践的な情報処理能力をもった人材を養成する。



3年次終了時の人材育成目標(関連資格)
 専門講義科目の受講を通じて心理学検定1級合格レベルの専門知識を身につけるとともに、認定心理士資格申請に必要な授業単位を取得し終える(36単位)。独力で心理調査を立案・実施・データ解析できる力を身につけ、卒業研究の予備的研究をスタートさせる。

2年次終了時の人材育成目標(関連資格)
 専門講義科目の受講を通じて心理学検定2級合格レベルの専門知識を身につける。心理学実験、心理検査、および心理調査を実習授業で経験し、それぞれの研究結果の分析に必要なデータ解析方法の基本技能を身につける。

1年次終了時の人材育成目標
 学問としての心理学の全体像を理解し、2年次以降の専門的学習に必要な基本的知識を身につける。また調査・実験データの解析に不可欠な数学的技能とパーソナル・コンピュータを使用したデータ解析法の基礎を身につける。

③情報リテラシの人材育成目標
 汎用ソフトを使った基本的なデータ処理能力はもちろんのこと、心理統計で必要となる記述統計と推測統計の方法を学び、専門的な統計解析ソフトを使用した高度なデータ解析力を身につける。

④日本語リテラシの人材育成目標
 心理学の教科書や専門書を読み、その内容を正確に理解できる読解力と、専門知識と適切な文章表現を駆使して研究レポートを作成できる力を養う。

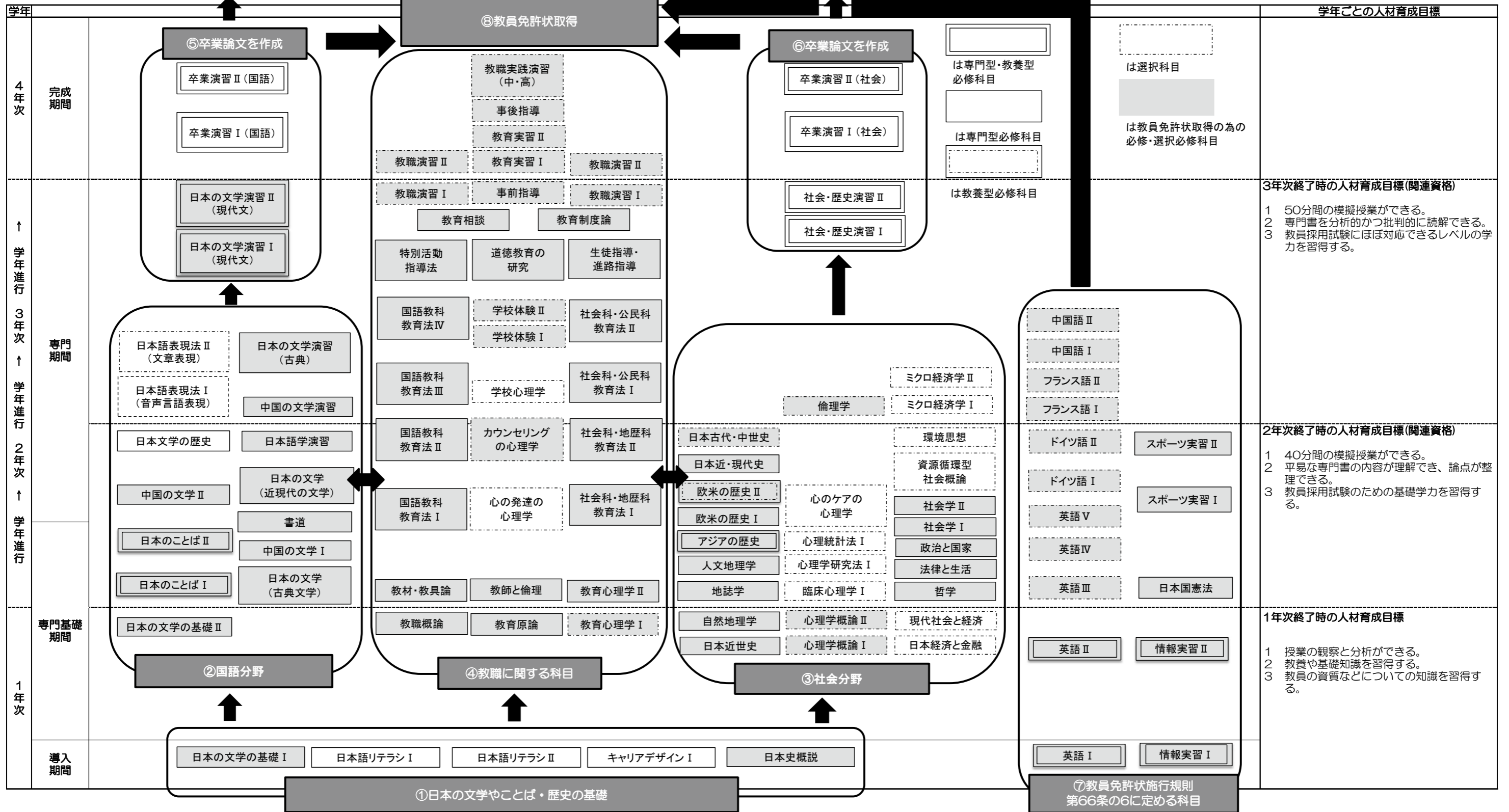
⑤外国語リテラシの人材育成目標
 英文教科書や専門論文、インターネットでの英文記事を独力で読みこなす力を身につける。

①②⑦⑧⑨専門科目の人材育成目標
 現代社会が抱える心理学的問題を学問的な立場から理解し、心理ケアや心理調査などの職業場面で活躍できる力を身につける。

歴史・文化コース

歴史・文化コースの人材育成目標

日本の文化や歴史を学び、中学校教員(国語、社会)や高校教員(国語、地理・歴史、公民)として教育に従事する人材、あるいは、教育関連企業で活躍できるような人材となることを目指す。



②⑤国語分野の人材育成目標

- 様々な現代文を読むことによって、言語文化に対する理解を深める。
- 古典を読むことによって、日本の伝統と文化に対する理解を深める。

③⑥社会分野の人材育成目標

- 歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、歴史的思考力を培う。
- 地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的認識を養う。

④教職に関する科目の人材育成目標

教員として求められる以下の4つの事項を習得する。

- 使命感や責任感、教育的愛情等
- 社会性や対人関係能力
- 生徒理解や学級経営等
- 教科内容等の指導力

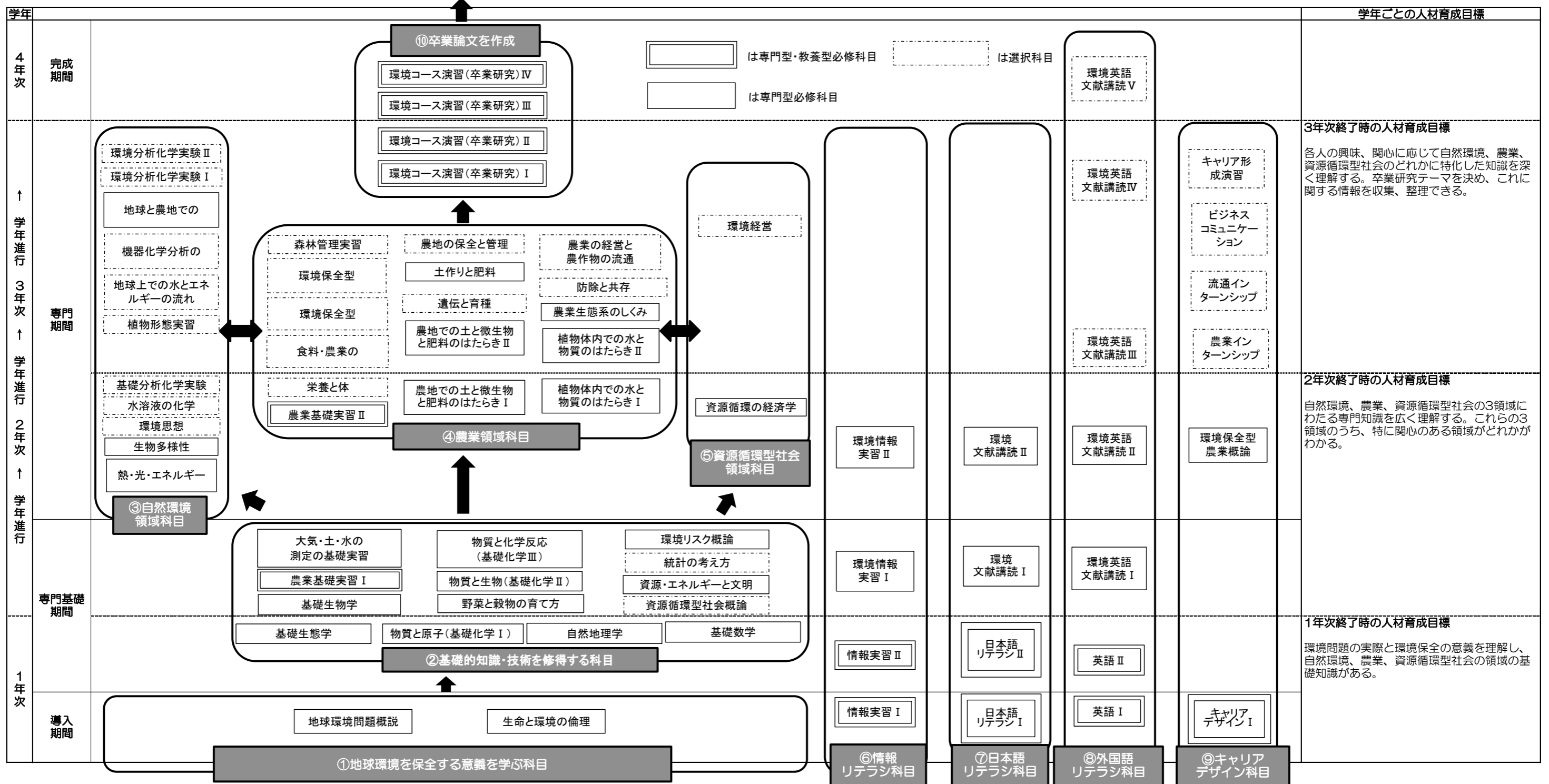
⑦66条の6に定める科目の人材育成目標

教員となる者に必要な一般教育科目として、我が国の社会の基盤となる「日本国憲法」、グローバル社会で必要となる「外国語」、情報社会で必要となる「情報機器の操作」、生涯体育に関連する「スポーツ実習」を学び、生徒指導に役立てられるようにする。

環境コース

環境コースの人材育成目標

生態系、物質循環、農業、資源循環型社会に関する専門的な知識に基づいて、社会の生産・流通・消費の場で、人間社会の発展と環境保全のバランスを考慮した発言と提案、そして行動ができる。



①地球環境を保全する意義を学ぶ科目
地球環境問題の実際を知るとともに、地球環境や生態系を保全する意義を理解する。

②基礎的知識・技術を修得する科目
自然環境、農業、資源循環型社会の3つの専門領域の基礎となる知識と技術を修得する。

③自然環境領域科目
地球環境中の物質循環系および生態系について、生態学、化学、地理学、物理学、気象学の諸分野の専門知識にもとづいて理解する。また、実習を通じて、自然環境を観測・測定するための技術を修得する。

④農業領域科目
農業、生態系、植物に関する専門知識を修得し、環境保全と物質循環を考慮した作物生産を行うことができる。また、農業に関する経営手法、法律、政策を理解する。

⑤資源循環型社会領域科目
自然資源の採取や廃棄物の廃棄などともなう環境負荷を低減させるための社会経済のあり方を、経済学や法学などの社会科学の知識にもとづいて、理解する。

⑥情報リテラシ科目
卒業研究に必要な、コンピューターを利用しての情報の収集と整理と発信を行うことができる。

⑦日本語リテラシ科目
卒業研究に必要な、日本語専門文献の読解方法に習熟する。

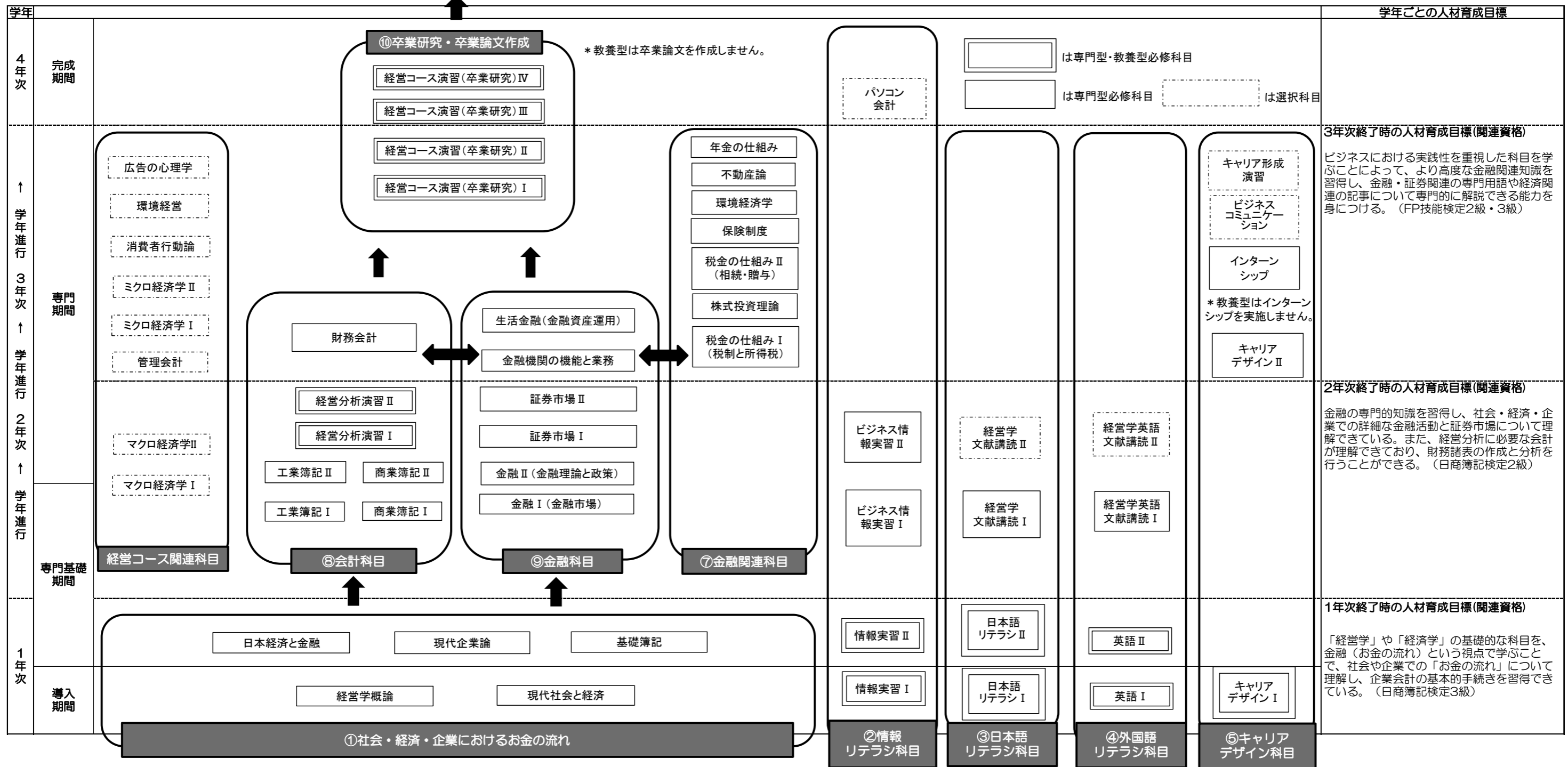
⑧外国語リテラシ科目
英語専門文献の読解の基礎的な知識を修得する。院進学を目指すものは進学後に専門文献読解が行える読解力を身につける。

⑨キャリアデザイン科目
農業関連の生産と流通の場で求められている知識と人材の実際を理解する。

経営コース

経営コースの人材育成目標

金融（お金の流れ）という視点で、社会・経済・企業の仕組みを理解し、ビジネスで必要とされる金融知識を習得した人材を育成する。企業業績を分析するための会計や経営分析の技能を習得するとともに、金融や株式、税金、保険といった実践的な金融知識を身につけた、企業で活躍できる人材を育成する。



②情報リテラシの人材育成目標
ビジネスで必要とされる基本的なスキルを習得するとともに、企業研究や経営分析で必要とされる情報処理能力とプレゼンテーションスキルを身につける。

③日本語リテラシの人材育成目標
専門書を読み、内容を理解できる文章読解力と専門用語を習得し、ビジネス文書・企画書を作成できる文章構成能力を養う。

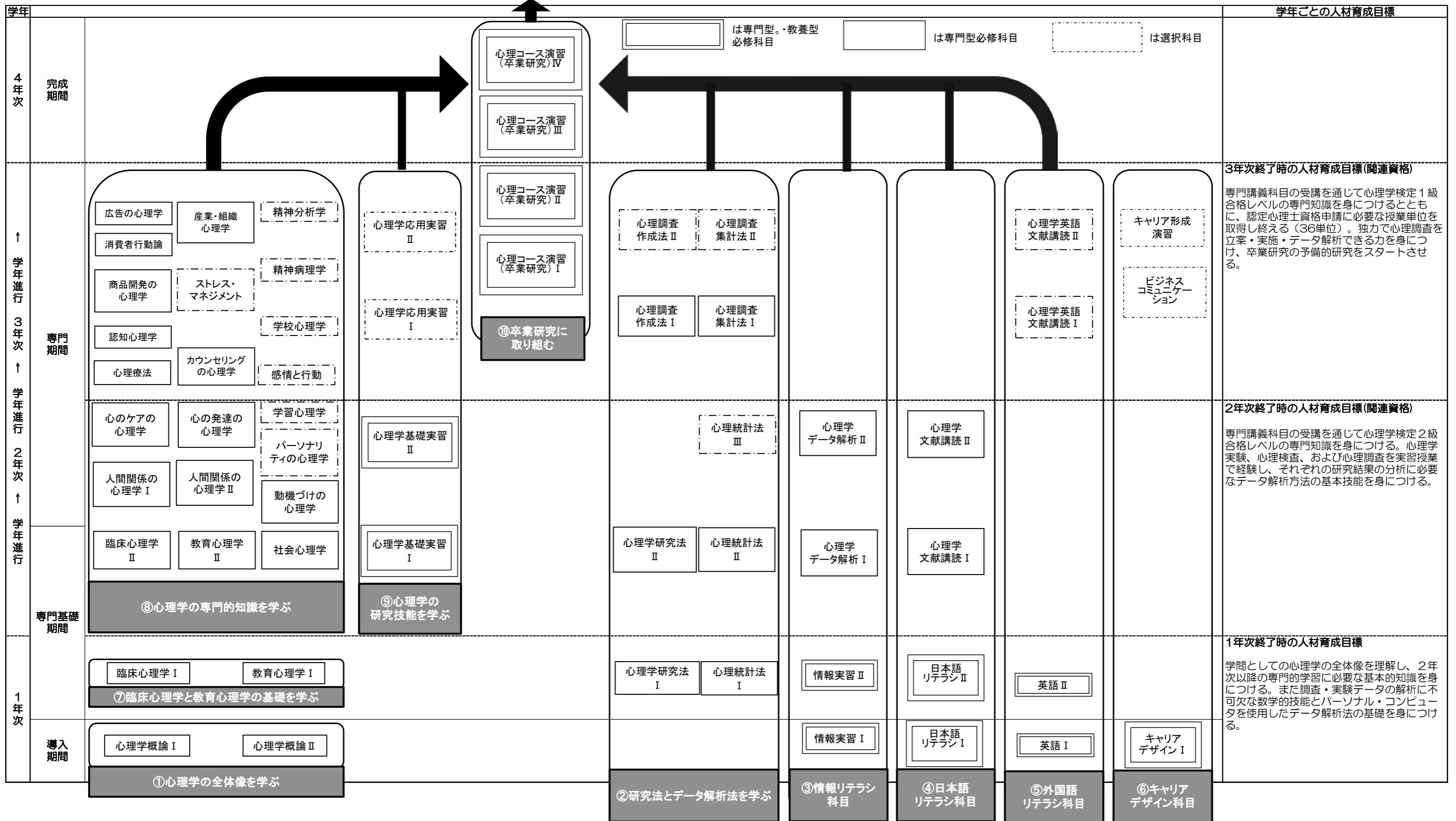
④外国語リテラシの人材育成目標
英語文献を理解できる読解力を身につけるとともに、ビジネスで必要とされるビジネス英語・時事英語を理解し、外国語コミュニケーション能力を養う。

⑤キャリアデザインの人の人材育成目標
自らの進路を早期から意識し、大学で学んでいることと自分の将来像の関連を理解して、明確な目標と課題意識をもつ。また、将来の進路の実現のために必要となる知識やスキルを積極的に習得する。

心理コース

心理コースの人材育成目標

- ・心理学全体についての基本的な知識を学び、現代社会におけるさまざまな心の問題を客観的な立場から理解し、対処・支援できる力をもった人材を育成する。
- ・心理調査の立案・実施・データ解析能力を学び、職場で活かせる実践的な情報処理能力をもった人材を育成する。



③情報リテラシの人材育成目標
 汎用ソフトを使った基本的なデータ処理能力はもちろんのこと、心理統計で必要となる記述統計と推測統計の方法を学び、専門的な統計解析ソフトを使用した高度な

④日本語リテラシの人材育成目標
 心理学の教科書や専門書を読み、その内容を正確に理解できる読解力と、専門知識と適切な文章表現を駆使して研究レポートを作成できる力を養う。

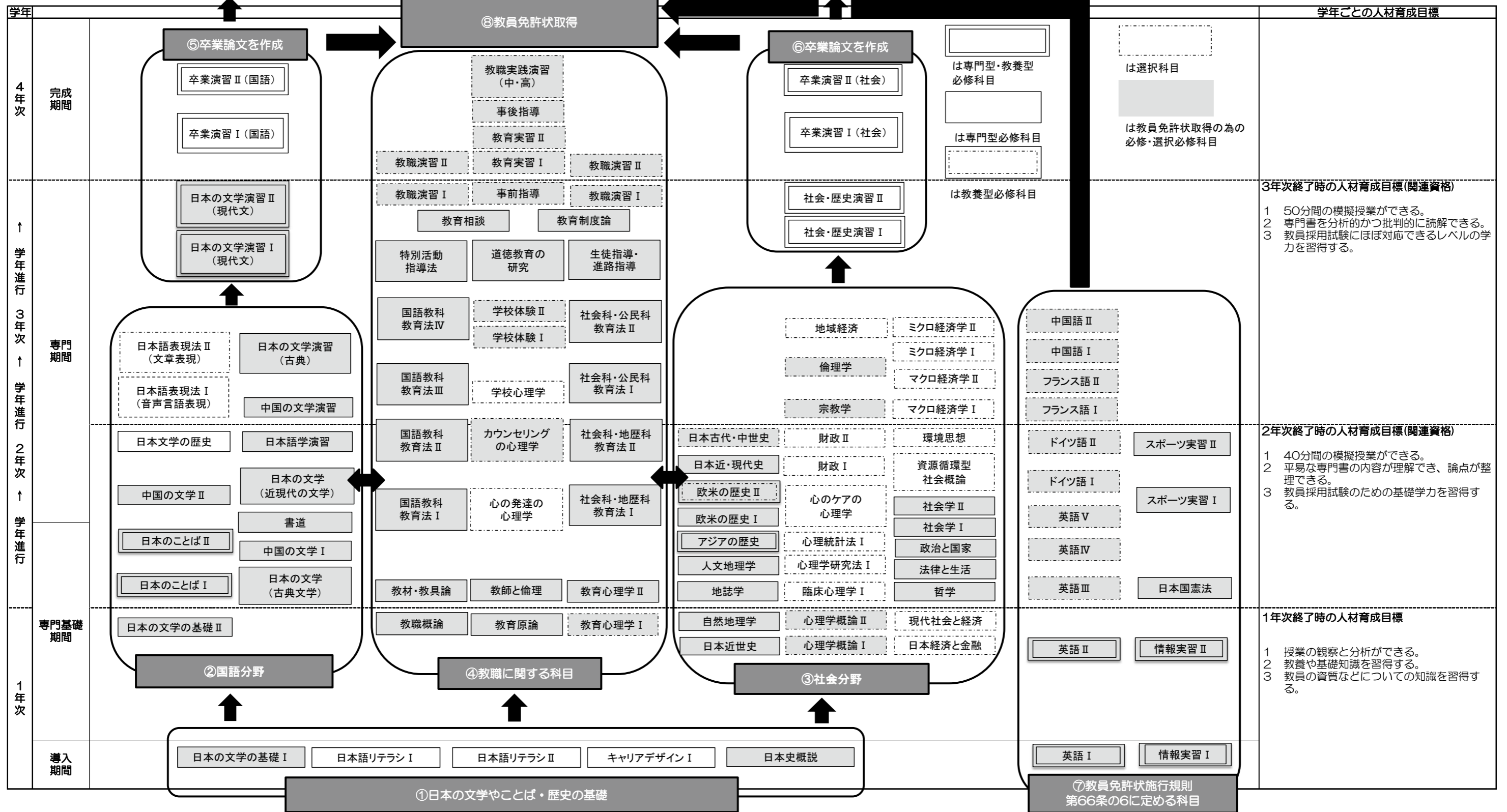
⑤外国語リテラシの人材育成目標
 英文教科書や専門論文、インターネットでの英文記事を独力で読みこなす力を身につける。

①②⑦⑧⑨専門科目の人材育成目標
 現代社会が抱える心理学的問題を学問的な立場から理解し、心理ケアや心理調査などの職業場面で活躍できる力を身につける。

日本研究コース

日本研究コースの人材育成目標

日本の文化や歴史を学び、中学校教員(国語、社会)や高校教員(国語、地理・歴史、公民)として教育に従事する人材、教育関連企業で活躍できるような人材を育成する。



②⑤国語分野の人材育成目標

- 様々な現代文を読むことによって、言語文化に対する理解を深める。
- 古典を読むことによって、日本の伝統と文化に対する理解を深める。

③⑥社会分野の人材育成目標

- 歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、歴史的思考力を培う。
- 地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的認識を養う。

④教職に関する科目の人材育成目標

教員として求められる以下の4つの事項を習得する。

- 使命感や責任感、教育的愛情等
- 社会性や対人関係能力
- 生徒理解や学級経営等
- 教科内容等の指導力

⑦66条の6に定める科目の人材育成目標

教員となる者に必要な一般教育科目として、我が国の社会の基盤となる「日本国憲法」、グローバル社会で必要となる「外国語」、情報社会で必要となる「情報機器の操作」、生涯体育に関連する「スポーツ実習」を学び、生徒指導に役立てられるようにする。